

危機と変化

清瀬教会 菅谷勝浩

この原稿を書いているのは、首都圏に非常事態宣言が出て間もない時期です。新型コロナウイルス感染拡大の収束を心から願い、愛する兄弟が守られますようにお祈り致します。

「…今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。」（ヨハネ4:23）

四月にはいり、関東教区のほとんどの教会が礼拝のため会堂に集まることをやめ、インターネット礼拝、家庭礼拝に移行しています。まさかこのような状況になるとは、だれも予想していなかったことでしょう。危機に対する捉え方は、地域や教会によって、温度差があります。しかし、このような場合、リーダーの危機管理能力、決断力が問われることも事実です。

日頃、当たり前だと思っていた常識、自分の経験や価値観が必ずしも通用しなくなってきました。私たち自身、神との関係、家族の在り方、人間関係、教会とは、信仰の姿勢などが問い直され、変化を余儀なくされています。当たり前のように毎週会堂に集い、神さまを礼拝してきたことが、突然できなくなりました。

イスラエルでは、正統派のユダヤ教徒の人たちに感染が拡大しているようです。伝統や律法を守り続けるあまり、社会や周りとの関係を軽視することによる弊害でしょうか。また、日本社会の欠けや問題点が見えてきます。後手にまわる対応、迅速でない決断など。

しかし、窮する中でこそ新しい発見もあります。私たちの教会も、コロナ対策を共に考え、知恵を出し合い、祈り合う中で、それぞれの賜物がより明確にされている恵みを感じています。

「…神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。」（同4:24）イエスさまは、サマリアの女に礼拝をする場所が問題なのではなく、信じる者が、どこでも神を礼拝できる時が来ようとしていることを語られました。教会も私たち一人ひとりも、危機の時にこそ、変わるチャンスです。今がその時です。



キングダム

KINGDOM

理念 私たち基督聖協団は各個教会が愛と宣教によって建て上げられるために仕え合います。